

□日時：平成31（2019）年1月20日（日）13時30分～15時

□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

1 / 23 報告

第6回「ピースくまもと」設立準備事務局会概要報告

1 開会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局副代表安藤富士記代表小山和作さんが急なインフルエンザ発症で参加ができなくなりました。昨年5/13に準備会は発足し、8月には旅のよるこび社宮川さんの尽力で「戦争遺産の旅」に企画が行えました。今年からいよいよ全体的な構想・体制整備を協議していきます。

愛知の資料からも、県下を挙げての取り組み、幅広い取り組みが必要となります。取り組みの核としての皆様方の役割が重要となります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年は夏に戦跡保存全国シンポも開催され、大変忙しくなるかと思いますが、両事業を並行して取り組んでいきましょう。

なお、日野原先生主催の全国組織が解散となりましたので、熊本は組織をそのまま継続させ「熊本新老人の会」として4月に発足します。



安藤富士記副代表の開会挨拶

2 参加者自己紹介（各自の近況・活動状況等を紹介してください。 ※敬称略・順不動） ※司会：上田欣也

○出席：安藤富士記・上村真理子・三隅康資・堀浩太郎・伊藤利明・吉田正昭・上田欣也・赤瀬 恵・戸崎孝行・石川幸彦・末永崇・諸隈征硯・山野幸司・永田 昭・前田祐介・福川雅三・高谷和生

○オブザーバー：熊日編集局次長 本田清悟

○欠席：久米野安俊・矢加部和幸・有馬信一・多田喜一郎・宮川和夫・青木栄・高野誠二・二見正輝・勝又俊一・平野順也



オブザーバー熊日本田さん近況報告

3 熊本に戦争と平和ミュージアムの「ピースくまもと」「くまもと平和祈念館」設立に向けて (1) 戦争と平和ミュージアムの「ピースくまもと」設立に向けてのタイムテーブル

（試案VIベース）

※資料1

ア A・B・C部会と全体・参照事項・5年間スケジュールとの関わり

イ 各部会への事務局員の担当配置（仮案）

○前回提示の上記内容に、皆様方のこれまでの活動実績等を参考に、各担当を考えた。決定案ではないので、この後人の移動も含め柔軟に対応できればと考えている。

○本会始動の活動となる「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会（仮）」の設置時期を検討してほしい。

○それに併せて活動に賛同いただける「発起人の人選や手分けしての依頼」、「活動趣意書（案）」の作成と完成の目処も考えてほしい。

○まだ組織固めが出来ていないので、当面は市民グループとしての活動とし、将来的には活動の安定性から「認定NPO・非営利活動法人」としての位置付けではないかと考える。

○前回までの協議を踏まえ、会事務局は不要な混乱を避ける意味から「ピースくまもと設立準備事務局会」とし、最終的には一般公募による名称・キャラ・ロゴ等の最終決定としたい。具体案として「熊本の戦争と平和のミュージアム」・「ピースくまもと」・「くまもと平和祈念館」他

○活動の前提として4月には「会計・監査担当」の至急人選をお願いしたい。

Q：5年後設立に向けての、別途県や市協議でのスケジュールが必要ではないか。

A：各部会の動きを見ながら、全体事項に含める形が良いのではないかと思います。また、部会毎の協議をはじめると欠落した項目等も見えてくると思うので、これをD部会：全体でフォローアップする必要があるので考えている。

Q：5年目処をさらに明確にして「6年目に開所」等の具体目標とすべきではないか。

A：前回協議でも紹介したように「県市の施設か、市民グループ運営か」「自前施設か、賃借施設か」「既存建物か、新規建物か」により開所時期は大きく異なる。両案を併記しな



初参加の福川さんの自己紹介

がらの検討が必要だ。

Q：各部会内容や人員配置等での工夫が必要ではないか。

A：仮案として提示させていただいたので、各部会の作業量が偏らない様に勘案し、次回以降の実動協議等を経て、柔軟に対応したい。

(2) 「ピースくまもと」設立準備事務局会協議資料

※資料 2

ア 戦争と平和の資料館 ピースあいち 開館10周年記念誌『希望を編みあわせる』
「第四章 資料・年表」を抜粋して、原案作成した。なお、元文はHP内「ピースあいち」データをパスワード「A ichi」（大文字のA、他は小文字）でダウンロード可
イ 「熊本に戦争と平和のミュージアム設立を呼びかける会（仮）」アピール文（案）、基本構想（案）

○ピース「あいち資料」を、文字修正し熊本用に打ち替えた資料である。

Q：構想案で「熊本県域、十五年戦争期」としての理解でよいか。

A：これまでに示した**三本の柱「熊本空襲・熊本の戦争の歴史と遺産・次の世代への継承」**で良いと考える。**前段の西南戦争期等は、既存施設との連携**を示していきたい。

Q：県内の現況各施設（菊池・荒尾・町立錦）を通しての課題整理が必要ではないか。

A：当然必要な項目だと思うので、各部会協議のなかで日程等を検討していきたい。

(3) 今後の協議 他

○本資料を今後の協議資料として進める事で了解いただいたので、次回・**第7回からの各部会ごとの具体協議の作業**を始めていきたい。

○部会毎の協議事項の整理、入れ替え等も含めて次回協議とする。

○6年目には「デジタルミュージアム」としての開館でも、よいのではないか。

○全ての項目を5年間で完了することは困難だと思うので、**部会毎に項目を整理し、タイムテーブルを作成いただき、優先順位を示し、会全体としては「D部会：全体事項」でスケジュール管理**を進めていきたい。

○趣意書案等の協議用テキストデータはHPに掲載する。

4 連絡事項、その他

(1) 情報管理の一貫で会HPでの「www」標記の削除を行います。また、プロバイダー使用料も石川さんに個人負担していただいているので、急ぎ予算化してほしい。

(2) 次回の「第7回ピースくまもと設立準備事務局会」は、3/17（日）予定。なお、後半に「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」の「第4回現地実行委員会」を開催予定

(3) 記事紹介

○朝日新聞の声欄「日本語学ぶ若者 感謝と敬意」上村さんの戦時資料収集の記事が、大阪版で紹介された。

○熊日新聞の読者ひろば「平和への活動 若者にエール」三隅さん投稿、「被爆体験継承 ラペ頑張り」高谷の投稿が掲載された。若い世代の活動の支援を進めていきたい。

5 閉会挨拶

……ピースくまもと設立準備事務局副代表 上村真理子
タイムテーブル案等も提示いただき熱心に協議いただきました。大きな流れを呈示いただきましたので、次回以降で各部会で内容を深めることができると願っています。



上村真理子副代表の閉会挨拶



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生
自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
<https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>